

MSWが求めるユニフォームの要素に関する研究 ～福岡県有明保健医療圏内のMSWに対するアンケート調査から～

地方独立行政法人大牟田市立病院 北嶋 晴彦

加倉 俊輔

要 旨

医療機関で働く専門職の多くは、専用のユニフォームを着用している。しかし、MSWのユニフォームに着目すると、医療機関によって様々である。先行研究を調査したが、MSWとユニフォームに関する研究論文は見当たらなかった。そこで私たちは、MSWがユニフォームに求める要素を明らかにしたいと考えた。調査は、当院のある有明保健医療圏内の一般病院 21 か所に勤務するMSW 46 名に対してアンケート調査を行った(回答者 40 名・回答率 87%)。結果、求める要素として「他者からの職種識別」、「安全性(感染対策)」、「機能性(動きやすさ)」が高かった。スタイル(色や形)は、白を基調に明るく親しみやすいメージで、ズボンタイプが良いとする回答が多かった。ユニフォームを着用することで、MSWとしての自覚を得る機会を求めていると同時に、相談者との良好な信頼関係構築を手助けするひとつのツールとして期待していることが分かった。

キーワード：MSW ユニフォーム 制服 職業標識 感染対策

1. はじめに

医療機関で働く専門職の多くは、専用のユニフォーム(制服)を着用している。ユニフォームの語源は、ラテン語の「1つの形の意」といわれている¹⁾。ユニフォームは、職業標識の役割を果たし、求められる機能性も時代とともに変化している²⁾。

MSWのユニフォームに着目すると、筆者の知っている限り、白衣、事務服、スーツなど、医療機関によってスタイルは様々である。MSWのユニフォームに関する先行研究を調査したが、関連する研究論文は見当たらなかった^{※1}。そこで私たちは、現場で働くMSWが、どのような機能や役割をユニフォームに求めているかを明らかにしたいと考えた。また、本調査研究の結果を踏まえて、当院のMSWユニフォームの在り方を見直したいと考えた。ちなみに当院は、MSWが初めて採用された

2006 年以降、もともと決まっていた白衣(長い丈)を現在も着用している。

※1 医中誌 Web:「MSW」and「ユニフォーム」or「制服」で検索(2017 年 5 月 10 日)

2. 研究目的

現場で働くMSWがユニフォームに求める要素を明らかにする

3. 仮 説

本調査研究において、以下の3つの仮説を立てた。

- (1)MSWは白衣(長い丈)を着ている割合が高い
- (2)MSWは、ひと目でMSWと認識できるユニフォームを希望している
- (3)ユニフォームを着用し、患者に良い印象を与えることで、信頼関係構築をスーム

ズに行う効果・役割を期待している

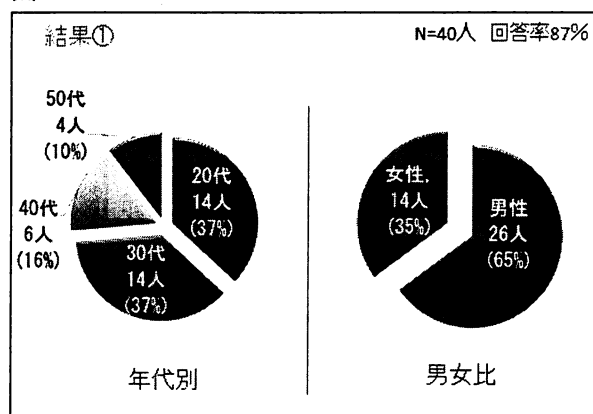
4. 研究方法

- ・調査方法：郵送による自記式無記名アンケート調査
- ・調査対象者：MSW 46 名
福岡県有明保健医療圏内の全ての病院 21 ヲ所（精神科病院を除く）
- ・実施期間：2017 年 5 月 1 日～2017 年 6 月 9 日
- ・有効回答数：40 名（87%） 急性期 22 名、回復期 7 名、維持期 11 名
- ・倫理的配慮：本調査は、地方独立行政法人大牟田市立病院倫理委員会の規定に沿って行った。
- ・ユニフォームの定義：本調査で意味するユニフォームとは「ある集団に属する人が着るように定められた服装（広辞苑）」とする。本論文では、ユニフォームと制服は同じ意味として扱う。

5. 結 果 ※パーセンテージは有効回答数に対する値

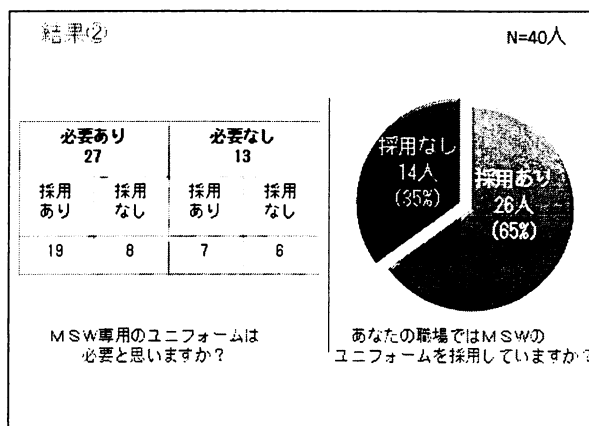
本調査では、13 の設問を記載したアンケート※₂を作成した。以下にその主な結果を示す。 ※2 本論文末に添付資料あり

図 1



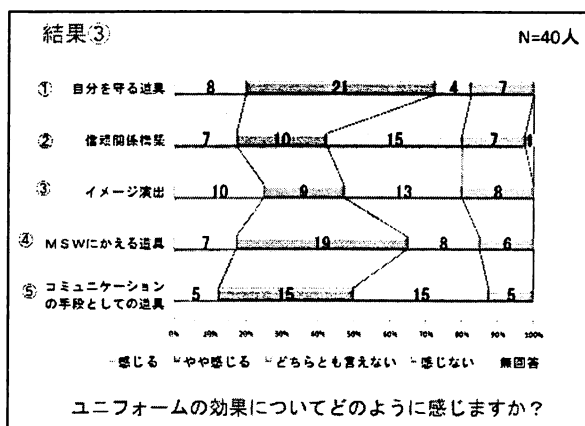
結果①：回答者の年代は、20 代、30 代、40 代以上と、ほぼ同じ割合で 3 つに分類できる結果となった。20 代と 30 代で約 7 割であった。男女比は男性が 26 人（65%）と多い結果となった。

図 2



結果②：MSW 専用のユニフォームの必要性について「必要あり」と回答したのは 27 人（68%）であり「必要なし」は 13 人（32%）であった。調査時点で、ユニフォームの「採用あり」と回答したのは 26 人（65%）で、「採用なし」は 14 人（35%）であった。制服を採用しておらず、採用の必要性を求める回答者は 8 人いた。一方、「採用なし」で、かつ「必要なし」の回答は 6 人であった。

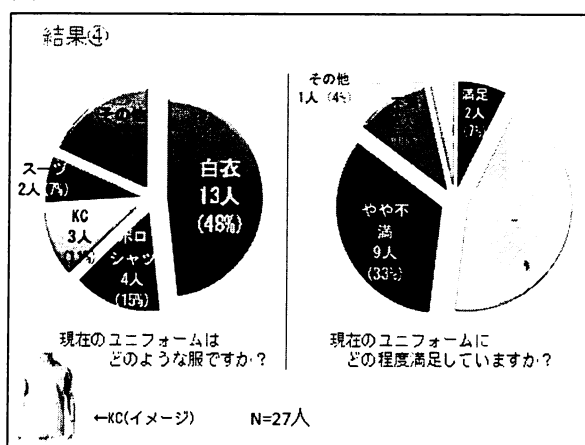
図 3



結果③：ユニフォームの効果について、最も多い回答は「自分を守る道具」であり、その内訳として特に感染対策を求めている回答があった。次に「（自分自身を）MSWに変える道具」と続いた。自由記載の回答からは、ユニフォームを着用することで「他職種からMSWと認識してもらう」、「職業人と私人の使い分けの機会」など、MSWとして自覚する切り替え（スイッチ）としての効果を期待し

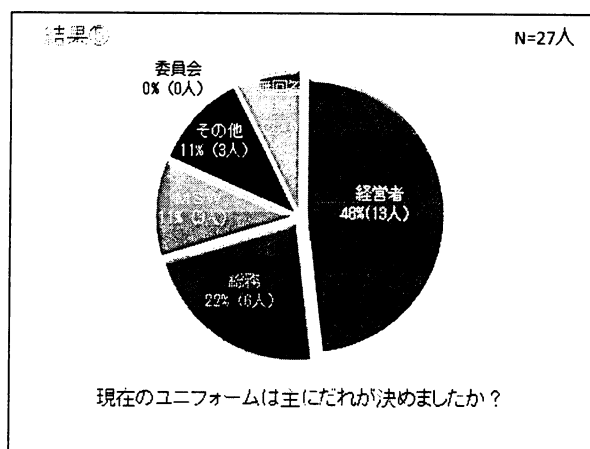
ている回答が複数あった。一方、「ユニフォームによって患者さんへの対応は変わらない」「そもそもあまり関心がない」「今までユニフォームを意識することは無かった」との回答もあり、ユニフォームの採用そのものに特に関心を持っていない回答者もいた。

図4



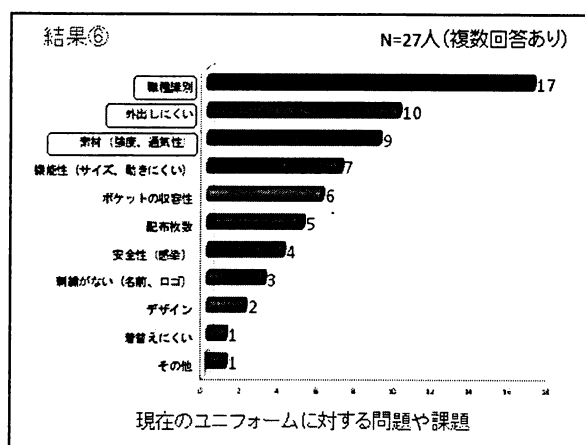
結果④：ユニフォームを採用していると回答した27人へ、その種類と満足度に関する質問を行った。種類は白衣（13人：48%）が半数近くで、続いて、ポロシャツ、ケーシー（上下セパレートタイプで上着の丈が短い）であった。ユニフォームの満足度は「満足（2人）」「やや満足（12人）」が合わせて52%で半数を超えた。「やや不満（9人）」と「不満（3人）」と合わせると、何かしらの不満を持っている回答者が約半数いた。設問に関する自由記載の回答では、肯定的な意見として「白衣のため医療専門職のイメージが伝わる」「清潔感がある」などがあった。一方、改善を求める意見として「白衣は医師と間違えられる」「MSWと認識されない」「先生と呼ばれ関係性の構築の面で効果に疑問をもつ」などの意見があった。

図5



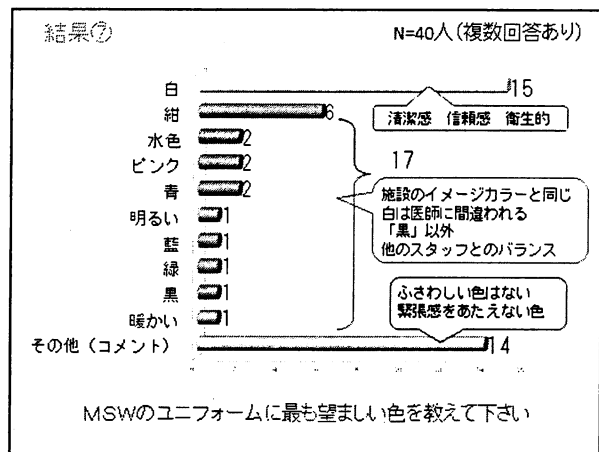
結果⑤：ユニフォームの採用決定者を聞いた設問では「経営者（13人）」「総務部門（6人）」が合わせて約7割であった。「MSW」が主体的に決めた回答は、3人（11%）あった。ユニフォームの採用には、MSWの意見が反映されたものは少なく、多くは病院長などの組織運営に携わる管理者や総務部門で決まった回答が多かった。

図6



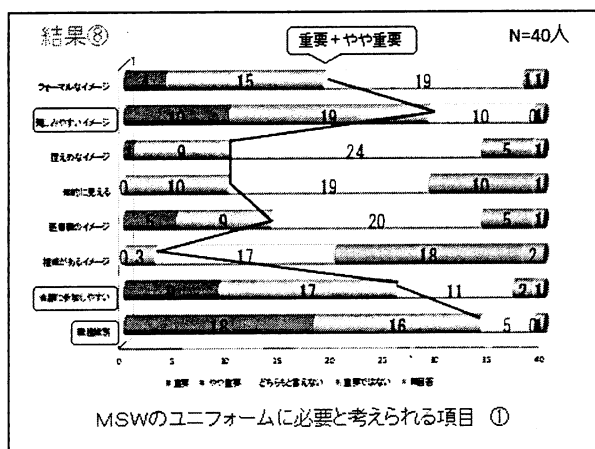
設問⑥：現在のユニフォームに対する問題や課題として「職種の識別ができない（17人）」、「外出しにくい（10人）」、「素材（9人）」の回答が多かった。職種識別（他者からMSWとして認識してほしい）を問題・課題とする回答が多かった。その他「機能性（動きやすさ）」「ポケットの収納性」「配布枚数」などの回答もあった。一方、デザイン（オシャレ）に関する回答は低かった。

図7



結果⑦：ユニフォームに望ましい色を聞いたところ「白(17人)」が特に多い結果となった。主な理由に「清潔感」「信頼感」「衛生的」であった。続いて「紺(6人)」と続き、上記2色以外は多色であり、主な理由として「他のスタッフとのバランスで決まる」という回答があった。「その他」の回答は14人いた。主な理由は「医療機関のイメージカラーに合わせる」「白は医師に間違われるので他の色がよい」「黒以外」「ふさわしい色はない」「相談者に緊張感を与えないような色であれば何でもよい」という内容であった。

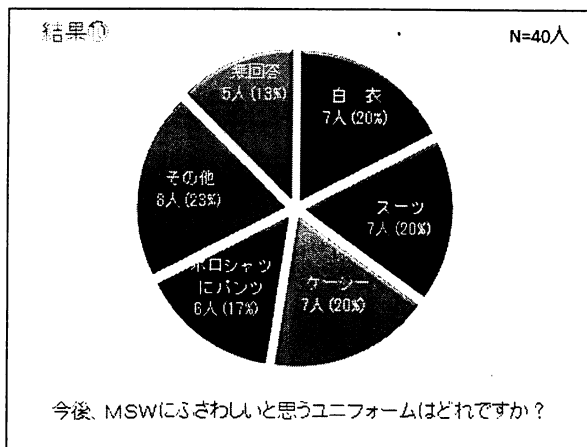
図8



結果⑧：今後のユニフォームに必要と考えられる項目は「親しみやすいイメージ」「職種識別」など、他者へ与える印象に関する回答が多かった。また「会議に参加しやすい」「外

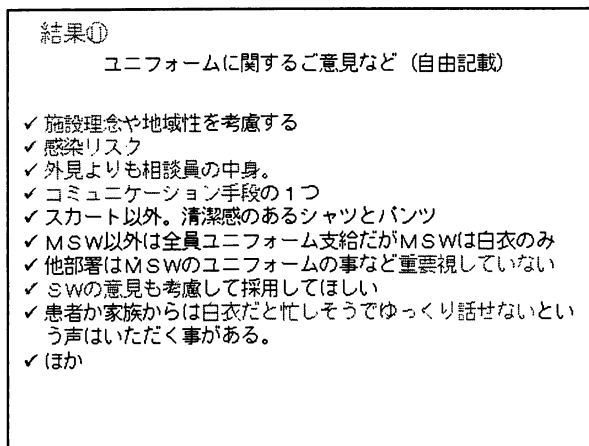
出しやすい」など、組織内外の会議や外出を行う上で必要とされる項目の回答も多かった。次に「配布(支給)枚数」「安全性(感染対策)」「着替えやすい」など機能性を持った項目と続いた。一方、「医療職のイメージ」「オシャレ」などの回答は低い結果であった。

図10



結果⑩：今後、MSWにふさわしいユニフォームの形を聞いた設問では、白衣(7人)、スーツ(7人)、ケーシー(7人)、ポロシャツ(6人)など、どれも同じような回答数であった。MSWにふさわしいと思われるユニフォームのスタイルは、回答者の中でも統一したイメージや傾向がはっきりしていないことが分かる結果となった。

図11



結果⑪：最後の設問は、ユニフォームに対す

る意見を自由に書いてもらった。これまでの結果では触れられなかった回答として「MSW以外は全員ユニフォーム支給だがMSWは白衣のみ」「他部署はMSWのユニフォームの事など重要視していない」「スカート以外。清潔感のあるシャツとズボン」「誰もMSWのユニフォームの事など重要視していない」「患者か家族からは白衣だと忙しそうでゆっくり話せないという声はいただくことがある」という回答があった。

6. 考 察

本調査結果から、考察として以下の4つの視点を述べる。

- (1) 専用のユニフォームを27人(68%)が必要と感じているが、現在のユニフォームに対して12人(44%)が何かしらの不満を持っていた。現在、着用しているユニフォームは、MSWの意見が十分に反映されたものが少なかった。MSWの業務状況に応じて、機能性でも、感染対策や動きやすいものを希望する傾向が考えられた。動きやすさや感染対策などの機能性を重視する理由として、MSWは、日常業務の中で、患者が車いすからベッドへ移動するときなど、看護師等の補助として簡単な介助を行うこともあり、患者に接するような機会が増えていることが考えられた。MSWは組織内外で多職種カンファレンスに出席することや、患者の退院前自宅訪問など外出することも多く、会議や外出に対応した機能をユニフォームに求めていると考えた。
- (2) ユニフォームの問題・課題として「職種の識別ができない」という回答が多かった。現在、ユニフォームを採用している施設で、MSWが着用している形は白衣(長い丈)が48%と約半数であった。また、

白衣のため医師や他職種と間違われること、白衣の持つイメージ(権威)をMSW自身が好んでいないことがわかった。理由は、他者からMSWとして認識してもらいたいと同時に、自分自身がMSWとして自覚を得る機会をユニフォームの要素や効果のひとつとして期待していることが考えられた。また、他者からMSWとして容易に認識されることは、他者との良好な関係構築を早期に行える効果を期待していると考えた。

- (3) 求める要素に、安全性(感染対策)・機能性(動きやすい、外出しやすい)を重視しているのは、MSWが医療機関内において、病棟や外来で患者に近い立場で業務を行っている事が理由と考えられた。また、地域連携や地域包括ケアシステムの構築などの理由で、所属施設内に限らず、地域に出向いて患者を支援する機会や多職種連携の機会が多くなっていることが結果の理由と考えられた。
- (4) ユニフォームの色は、白を基調にした明るい色で、相談者に対して清潔感や信頼感を与えるものを希望していた。形はズボンタイプの意見が多く、患者と面談するときに、ベッドサイドや車いす乗車の患者と面接をする場面で、相談者と目線を合わせるために、膝を床につく機会も少なくないことがその理由と考えられた。一方、現時点では、MSWをイメージする色や形は統一したものがなく、日常業務を踏まえて、各施設や地域性を考慮したものがよいことが分かった。ユニフォームを介して、相談者に親しみやすい印象を感じてもらうため、デザインにも配慮して、できるだけ早く良好な関係構築を期待していると考えた。

7. 結 論

本調査研究において、現場で働くMSWがユニフォームに求める主な要素として、以下の3点を結論とした。

- (1)ユニフォームを採用している医療機関で働くMSWは、白衣（長い丈）を着ている割合が高い。白衣は他者から医師や他職種と間違っ理解されることがあり、他者からひと目でMSWと認識できるものが良い。
- (2)ユニフォームを着用することで、MSWとしての自覚（アイデンティティ）を得る機会となっている。しかし、MSWとして望ましいユニフォームのスタイルや統一したイメージは特に無く、日常業務を踏まえて、各施設や地域性を考慮して決めるのが良い。
- (3)素材は安全性（感染対策）や動きやすい機能を持つものが良い。色は、白を基調に清潔感や明るく親しみやすい色が良い。形は、簡単な介助、会議出席、外出がしやすいズボンタイプが良い。

以上を結論とした。

8. おわりに

本研究は限られたエリアや調査方法のため、広く一般化することは限界がある。「小さな研究」ではあるが、MSWが着用するユニフォームに焦点を当てた先行研究が殆どなかった事を踏まえると、少しは意味のある調査研究ではないかと思っている。しかし、本研究では医療機能によってユニフォームに求める要素の違いに関する比較検討はできなかった。今後は、二次調査として、県内や九州各県へエリアを広げて多くのMSWの意見を伺い、MSWが着用するユニフォームの在り方や、患

者家族とのより良い支援関係の構築に与える影響などにも視野に入れて調査研究を続けていきたいと思う。

（参考文献）

- 1) 高橋譲治「ユニフォームの定義と分類」繊維製品消費科学 33 巻 9 号 p470-472 1992 年
- 2) 鷺田誠一「シリーズ・服と社会を考える①②③」岩崎書店 2007 年
- 3) 神山進、高木修「被服行動の社会心理学－装う人間のこころと行動（21 世紀の社会心理学）」北大路書房 1999 年
- 4) 中島義明、神山進「まとう－被服行動の心理学（人間行動学講座）」朝倉書房 1996 年
- 5) (財) 日本ユニフォームセンター「医療用ユニフォーム意識調査 調査結果報告書」株式会社東レ経営研究所 1997 年
- 6) 上杉裕子、北神洋子、三井久「看護職のユニフォームに求められる要素」看護管理 36 号 p409-411 2005 年

「MSW のユニフォームに求められる要素」に関する アンケート調査のご協力をお願い

2017 年 5 月 1 日

●記入にあたってのお願い●

1. アンケート対象者は、MSW の方です。
MSW 全員にご回答いただきますようお願いいたします。
2. 差し支えない限りでお答えください。お答えしたくないものがありましたら空白でも構いません。
3. アンケートのご回答は、この調査票に直接ご記入ください。筆記用具はボールペンをご使用ください。
4. 質問のご回答は、用意されている選択肢に○をつけていただくものと、具体的にご記入いただくものがあります。
5. ○をつけていただく場合「○をいくつでも」、「○を3つまで」、それ以外は○を1つご記入いただく3種類がありますので、質問にあわせてご回答ください。
6. ユニフォームの被服に焦点を置いたアンケートにしておりますので、靴や髪型、アクセサリーなどは含まずにご回答ください。
7. 回答は無記名でいただきますので、回答者が特定されることはありません。
8. 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にアンケートを入れて、
2017年6月9日(金)消印有効までにお送りください。
ご質問などがありましたら、下記までご連絡ください。

(連絡先) 地方独立行政法人大牟田市立病院 地域医療連携室
担当 MSW 北嶋晴彦 MSW 加倉俊輔
〒836-8567 福岡県大牟田市宝坂町2丁目19-1
TEL: 0944-53-1061 FAX: 0944-53-6948
E-mail: haruhiko-k@pop21.odn.ne.jp

問1. 該当するところに○印、もしくはご記入ください。

質問欄	回答欄			
あなたの性別	女性		男性	
あなたの年齢	20代	30代	40代	50代
勤務先(病院)の所在地	市			
SWとしての経験年数	満		年	
主に担当している病棟の形態(一つ選択)	急性期	回復期	慢性期	
所属するMSWの総数	人			

問2. MSW 専用のユニフォームは必要と思いますか。

1. 必要である	2. 必要でない
----------	----------

問3. ユニフォームの効果についてどのように感じますか。A～Eの項目についてあてはまる1～4の番号に○をつけてください。また、A～E以外の項目で感じるものがあれば教えてください。

	1 感じる	2 やや感じる	3 どちらとも 言えない	4 感じない
A. コミュニケーションの手段としての道具である	1	2	3	4
B. 自分をMSWとしてかえる道具である(心理的効果)	1	2	3	4
C. MSWのイメージを演出する力がある	1	2	3	4
D. 援助対象者との信頼関係の構築に役立つ	1	2	3	4
E. 自分を守る道具である(感染など)	1	2	3	4

(その他に感じることをここに記入してください)

問4. あなたの職場ではMSWのユニフォーム(白衣など決まった服装)を採用していますか。

1. 採用している	2. 採用していない
-----------	------------

※問4で「2 採用していない」と回答いただいた方は、問11からお答えください。

問5. 現在のユニフォームはどのような服ですか？

1. 白衣 2. ポロシャツにパンツ 3. スーツ 4. ケーシー（半袖で丈の短い服）
5. その他（ ）

問6. 現在のユニフォームの使用年数はどのくらいですか。

1. 1年未満 2. 1年以上5年未満 3. 5年以上10年未満 4. 10年以上

問7. 現在のユニフォームは主に誰が決めましたか。

1. 経営者（院長・理事長など） 2. MSW 3. 委員会
4. 総務部門 5. その他（ ）

問8. 現在のユニフォームにどの程度満足していますか。その理由も教えてください。

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満

理由について

問9. 現在のユニフォームに次にあげるような問題点はありませんか。問題があると考える項目に○印をつけてください（いくつでも可）。

1. 素材（強度、通気性など） 2. サイズ・動きにくい（機能性） 3. 安全性（感染）
4. 時代に合っていない（おしゃれでない） 5. 着替えにくい 6. 外出しにくい
7. 刺繍がない（名前・病院ロゴなど） 8. ポケットの収納性が悪い
9. 配布枚数が少ない（洗い替え・コスト） 10. 職種の識別がしにくい
11. その他（ ）

問10. 現在のユニフォームを今後変更する予定がありますか。

1. 1年以内 2. 3年以内 3. 5年以内 4. 予定はない

【問4で「2 採用していない」と回答いただいた方は、次の設問からお答えください】

問11. MSW のユニフォームに最も望ましいと思う色を教えてください。その理由も教えてください。

色

理由について

問12. 今後のユニフォームに必要と考えられるA～Qの項目についてあてはまる重要度を1～4のいずれかの番号に○をつけてください。また、最も重視する項目を選んで左の欄に○印を3つまでつけてください。

	1 感じる	2 やや感じる	3 どちらとも 言えない	4 感じない
A. 素材（強度・通気性など）	1	2	3	4
B. サイズ・動きやすさ（機能性）	1	2	3	4
C. 安全性（感染）	1	2	3	4
D. 時代に合った形である（おしゃれな）	1	2	3	4
E. 着替えやすい	1	2	3	4
F. 外出しやすい（患者宅などを訪問しやすい）	1	2	3	4
G. 刺繍がある（名前・病院ロゴなど）	1	2	3	4
H. ポケットの収納性がある	1	2	3	4
I. 配布枚数（洗い替え・コスト）	1	2	3	4
J. 職種が識別できる	1	2	3	4
K. 会議に参加しやすい	1	2	3	4
L. 権威があるイメージ	1	2	3	4
M. 医療職のイメージ	1	2	3	4
N. 知的に見える	1	2	3	4
O. 控えめなイメージ	1	2	3	4
P. 親しみやすいイメージ	1	2	3	4
Q. フォーマルなイメージ	1	2	3	4

問13. 今後、MSW にふさわしいと思うユニフォームはどれですか。

1. 白衣 2. ポロシャツにパンツ 3. スーツ 4. ケーシー（半袖で丈の短い服）
5. その他（ ）

MSW のユニフォームについてのご意見を自由に記載してください。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

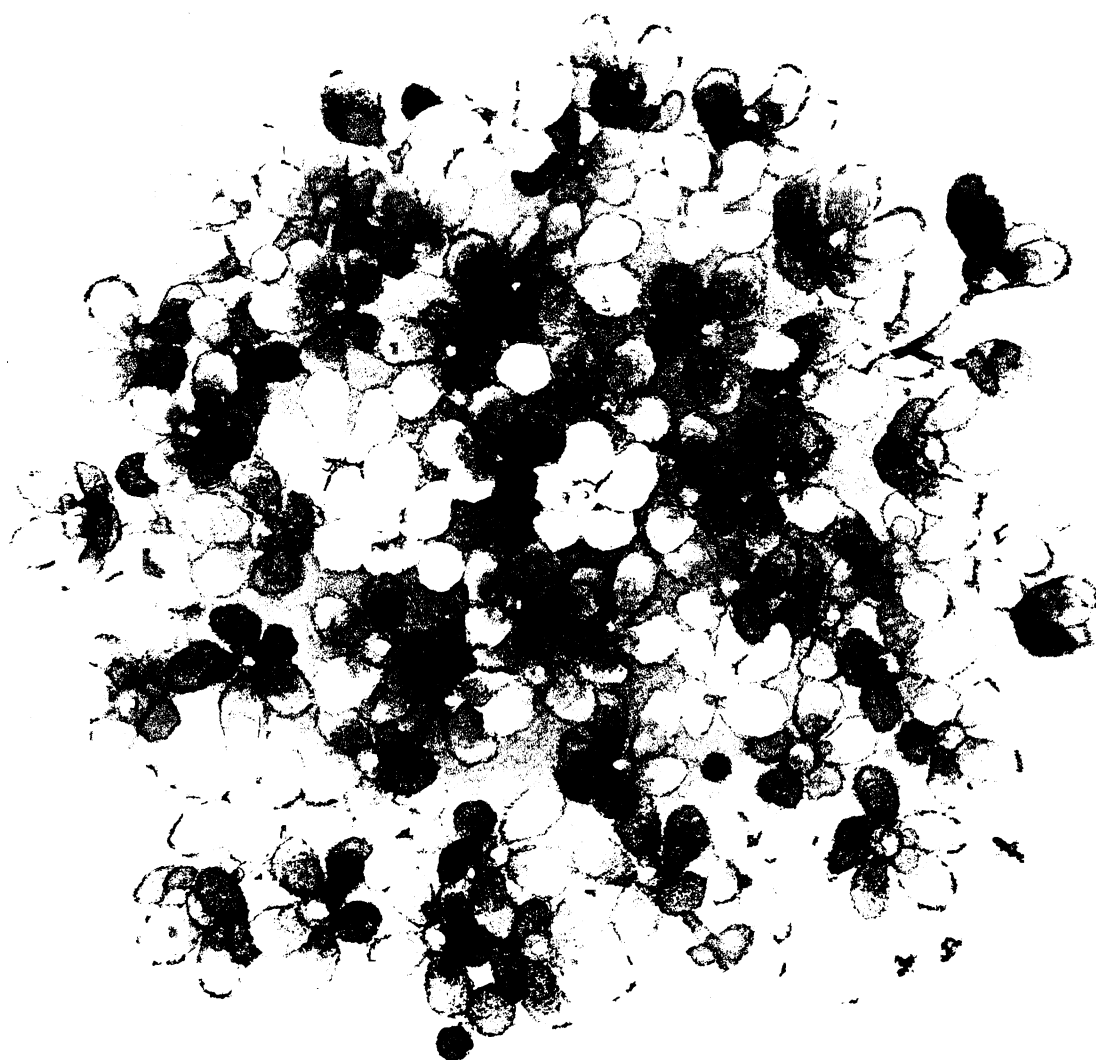
ISSN 2186-9073



No. 8

Journal of the Japanese Society of Medical Social Work

医療ソーシャルワーク研究



日本医療ソーシャルワーク学会

The Japanese Society of Medical Social Work

2018 年 3 月 31 日発行